



認知症とともに シリーズ ⑨

～認知症の人にやさしいまちづくり(3)～



認知症の人を正しく理解するために (3)

<認知症の人の状態や気持ち>

前回までの認知症の人自らのメッセージをもとに、本人の状態や気持ちについて考えてみましょう。

周囲には見えない大きなダメージを受けている

認知症になりたくてなる人はいません。「くやしい」気持ちを語る認知症の人が非常に多くいます。社会や家庭の中で自分なりの暮らしを築いていたある時期に、思いがけず発症する認知症。認知症が発見され、診断を受ける過程の中で、くやしさを不安など、周囲にはわかりにくいダメージを受けていることがあります。

どんなに認知症が進んでもここは生きている

認知症が進んで記憶がとぎれとぎれになったとしても「うれしかった」「楽しかった」「ないがしろにされた」「怖かった」など、その時に感じた気持ちはずっと残っています。

本人にとっての願いがある

認知症がかなり進んだ人でも「不自由なことには手を貸してほしい」「苦痛に感じることを楽にしてほしい」「自分の大事な物を大切にしてほしい」など人としての要望があります。

できること、やりたいことがある

人に世話になる一方ではなく、人の役に立ちたいという前向きな意欲を持っている人もたくさんいます。

大切なものを守ろうとする

認知症が進んでも、本人の中には自分にとって大切なことの記憶や体験が残っています。それがなくなると、攻撃的になったり、落ち着かなかったり、抑うつ状態になったり、体調が悪化したりすることがあります。

拒否するのは理由がある

どんな場面でも意味なく拒否する人はいません。そのとき、あるいは過去の体験の中で、本人が拒否したくなるような理由があります。

認知症の方は、言葉でうまく表現できなくてもこのような気持ちを持たれています。このことを私たちが理解することが大切です。周りから見ると理解できないような行動をしていても、何もできなくなったり何もわからなくなったわけではないので、頭ごなしに怒ったりすることは認知症の進行などの悪影響を及ぼしてしまいます。

(出典 東京法規出版「みんなの認知症サポート」)

広島市認知症地域支援推進員 山根映子

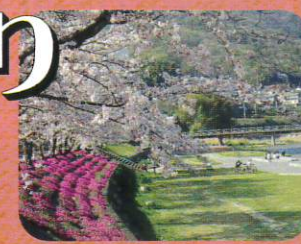
地域包括支援センターは認知症に関する相談もお受けしております！些細な事でもお電話を！



ええ町世のがわだより

2022年4月 No.10

発行・編集/広島市瀬野川東地域包括支援センター



暖かな春の日差しが心地よい季節となりました。日頃より当センターの運営におきまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。先日、コロナ禍の面会制限によって入院されているご主人の様子が変わらず、ご不安を抱えているお宅に訪問させていただきました。どうかご主人と会えないかと会える方法を一緒に考え、スマホを使ったオンライン面談にチャレンジしました。そして、やっとの思いでつながった時の奥様の笑顔を見た瞬間、この仕事をしていてよかったと心の底から嬉しくなりました。

今後も当センター職員は地域の皆様のお役に立てるように努めてまいります。

この状況が一日でも早く終息へ向かいますことと、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

センター長 鎌倉 直司

このようなことに悩んでいませんか？

生活費の計算や公共料金の支払いが自分一人では難しい。



通帳や印鑑をどこにしまったかわからなくなり、なくしてしまわないか不安。



施設に入りたいけれど、契約の手続きが不安。身近に支援してくれる人がいない。



放置したままの家や土地を処分したいけれど、手続きができない。



母親に認知症の傾向が…離れてくらしているので悪質な訪問販売などに悩まされたら心配。



福祉サービス利用援助事業の利用によって…

社会福祉協議会の担当者と一緒に必要な生活費を考え、お金の管理ができるようになりました。



社会福祉協議会に通帳や印鑑を預けることで、なくす不安がなくなりました。



成年後見制度(法廷後見)の利用によって…

成年後見人等が代わりに入所契約を結び、施設に入ることができました。



成年後見人等が代わりに家や土地を処分する手続きをしてくれました。



母親が高額な布団を購入しても、成年後見人等が取り消してくれました。



さまざまな相談ごと

- ・近所の一人暮らしの高齢者が心配
- ・どんな福祉サービスがあるの？

TEL: 082-820-3711
FAX: 082-554-5021

開館時間
8:30~17:30
(年末年始/日・祝除く)



権利を守ること

- ・もしかして虐待!?
- ・お金の管理の自信がなくなった
- ・消費者被害にあった

一人で抱え込んでいませんか？

介護や健康のこと

- ・足が弱ってきた
- ・介護のやり方が分からない
- ・今の健康を維持したい

地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが「チーム」で総合的に高齢者を支えます。

認知症のこと

- ・親が最近何度も同じことを言う
- ・認知症の予防法は？

広島市瀬野川東地域包括支援センター

広島市安芸区瀬野2丁目17番33号

利用のご相談は地域包括支援センターへ



※地域包括支援センターでは、金銭的搾取や詐欺から身を守るための成年後見制度の活用をサポートしたり、虐待被害の対応、防止、早期発見を行ったりと、高齢者の権利を守る取組をしています。まずはお気軽にご相談ください。



瀬野★「キラキラ人」のご紹介



「コスモス」の皆さん

代表の中西千念子さんは、夫が散歩に出かけなくなり、笑顔が減り、足腰も弱ってきたことを心配され、包括に相談。出かけるのはちょっと…でも人が来てくれるのは大好きな夫の利行さん。

そこで包括より、自宅でいきいき百歳体操を行うことを提案したところ、ご近所さんや友人に相談され、「みんなで元気になれたらいいね♪」と、自宅でいきいき百歳体操サロンを立ち上げることにされました。立ち上げた時期が秋だったことから、サロンの名前は『コスモス』と命名。

ようこそ
お越しください
ました!

体操の後は毎回、コロナ感染に気を付けながら、みなさんで楽しくおしゃべりされています。自宅を開放してくださる中西さんご夫婦に感謝感謝(^^)です。

花を生ける人、コーヒーを淹れる人、おもり入れを作る人など、みなさんも趣味を活かしたお手伝いをされています。

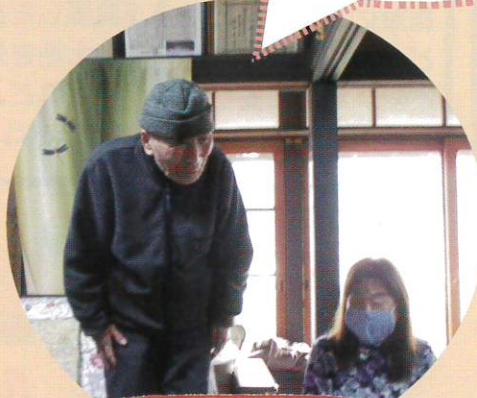
『コスモス』開催のきっかけになった中西利行さんは、『コスモス』の日は朝から庭の掃除や、会場の準備の他、始まりの挨拶をされるなど、大活躍！笑顔も増えました(^^)中西さんご夫婦もみなさんに感謝感謝(^^)です。



椅子は、安芸区社協のご協力により、寄贈していただきました。参加者の最高齢は 102歳！20分かけて一人で歩いて参加されています。

当初は体操を途中で休まれることもありましたが、今はおもりをつけて最後まで行うことができます。

「いくつになっても筋力アップはできる！」と、藤田さんの存在がみなさんのモチベーションにもつながっています。



中西さんご夫婦



気を付けてね～

今日も楽しかった～



102歳の藤田さん



いきいき百歳体操

みどり坂地区社会福祉協議会のご紹介



「誰一人取り残さない街」をめざして

安芸区社協、瀬野川東地域包括支援センターおよびみどり坂町内会のご協力をいただきながら、念願のみどり坂地区社会福祉協議会を令和3年9月1日に設立することができました。

みどり坂地区は、平成9年に入居が始まって、今年で25周年を迎えます。人口約7,300人、約2,300世帯の広大な団地です。令和2年時点の推計高齢化率は5.3%と低く、子育て世代が人口の大半を占めています。また、町内会活動も活発で、夏祭りや秋祭りといった交流や親睦を目的とした行事も多いです。

しかし、2025年～2030年頃には高齢人口の占める割合が増加し、一人暮らしや夫婦のみ世帯、要支援・要介護高齢者の増加と、若年層の進学、就職、転居による流出が見込まれ、長期的にみると人口構成の変化に伴い、少子高齢化地区となることが予想されます。団地の特性から、いくつかの課題が考えられます。例えば、空間的ゆとりをもって建設された大規模団地のため、個々の家の独立性が高く、孤立に気づきにくいことです。高低差の大きな団地のため、日常生活に車が欠かせません。今後運転ができない人が増加すると、買い物や医療機関における受診など日常生活を送ることが困難になります。

地区社協は、地域の課題解決につながる具体的な活動を地域住民の理解と協力を仰ぎ、様々な団体との連携・協同を図りながら、「誰一人取り残さない街づくり」に取り組んでいきます。

みどり坂地区社会福祉協議会 会長 佐野 真理子



執行部の皆様

※ みどり坂町内会の活動内容は『みどり坂町内会 こもねっと』で検索して下さい。



みどり坂町内会 こもねっと

中野東のご紹介

「旅する蝶」アサギマダラのご紹介



撮影：西井康子さん

渡り鳥のように長距離を移動する「旅する蝶」として知られるアサギマダラが中野東で見かけられました。大人気アニメ『鬼滅の刃』に登場するとも言われています。体調60ミリ程度の大型の蝶で浅葱（あさぎ）色をした半透明の美しい翅で優雅に飛びます。北から南へと全国的に生息しており、アサギマダラが好んで蜜を吸いに群れ集うのが藤袴（フジバカマ）の花です。

あんしんネット中野東の紹介

あんしんネット中野東



あんしんネット中野東とは？
あんしんネット中野東は、見守りを希望される方を地域で連携して見守り支え合うことで誰もが住み良い地域を作っていくことを目指しています。
登録者さんとは？
65歳以上の高齢者の方が対象です。ひとり暮らしが不安な方、生活に不安がある方などの65歳以上の方が対象です。
協力員さんとは？
特別な資格は必要ありません。特別なスキルはなくても、見守りなどの見守りを担います。登録者さんに、これまで通りの見守りや、声かけなどの見守りを担います。心配の種子があれば、ネットワーク構築者までご連絡ください。

「あんしんネット中野東」は、中野東学区の地域団地でネットワークを作り、見守りを希望される方を連携して見守り支え合うことで、誰もが住み良い地域を作っていくことを目指しています。ご相談は各自治会町内会長・地域包括支援センター等までご相談ください。